

持続可能な未来への挑戦。ユニークなアイデアを持つ人々が集まり、ヒトとしての未来を、自然の未来を、そして四万十の未来を創作していくようなプロジェクトが動き始めている。

山みず木再稼働プロジェクト



四万十川が太平洋に流れ込む河口の西岸。そこにはマニアを唸らせる温泉と約5万坪という広大な敷地を備えた温泉施設があった。しかし約10年前に閉鎖してからは、手をつけられることなく静かに眠っていた。そして2011年3月、東日本大震災を機に、“山みず木”はもう一度輝きを取り戻すことになる。

自然からの恵みを受け、自然に優しい暮らしとその循環。そんな暮らしを実現させることで「持続可能な未来への挑戦」を企んだのは、プロデューサーの藤本 洋二氏(左写真)である。新鮮で安全な食材、環境への配慮、自然エネルギーの利用、各々が過ごせる自由な空間。未来に続いていく四万十のエコビレッジのような場を作りたいと藤本氏は語ってくれた。

●温泉



山みず木のHPは
こちらからどうぞ↓



以前の山みず木の温泉をそのまま利用し、地下約800mから汲み上げられる26℃の冷泉を太陽光と薪ボイラー(蒸気ボイラー併用)で温めている。有馬温泉の水質に似ていると言われ、知る人ぞ知る秘湯なのだそう。また、窓からのぞく絶景も素晴らしい。岬の高台に位置する山みず木からは、太平洋と四万十川、下田の集落が一望できる温泉と絶景。だが、それだけではない。山みず木では自然・四万十川に配慮して、シャンプー等の化学洗剤ではなく、古代の海底で海藻などが堆積した地層から抽出した微生物酵素を配合した自然素材100%の石鹸の利用をお客様に呼びかけている。持続可能な未来への取り組みのひとつである。

戸別の貸切風呂もあるので、家族や大切な人とゆったりと温泉を楽しんでもいいかもしれない。

●カフェ



山みず木再稼働プロジェクトの第一歩として企画されたのが、このカフェである。何よりもまず、人々が集い、話らう場が必要であると藤本氏は考えた。2013年8月にオープンしたこのカフェの野菜は、オーガニックファームで獲れたもの、生産者と育て方が分かっているものだけを使用している。自信をもって提供する安全で新鮮な野菜であり、素材の味を活かした薄めの味付けとなっている。また、テラスも整備されており、晴れた日には絶景を眺めながら食事をすることもできる。ビオワインやフェアトレードコーヒー等も用意されており、各種パー

ティーに利用することもできる。



写真左から、
・ギャラリー
・遊具
・多目的ホール入口のバリから仕入れた扉

温泉とカフェ以外にも宿泊施設やギャラリーがある他、多目的ホールやキャンプ場の整備も始まっている。敷地内のオーガニックファームで農作業や収穫体験、将来的には全ての電源を自然エネルギーへの転換、世界中から人が集まってくるような仕掛けも考えているそうだ。

昔から四万十川と人々が密に関わって上手な距離を図りながら生きてきたように、もっと大きな規模で自然と人が密接した生活を送るということは当たり前のことではないだろうか。近年、忘れがちになっていた“アタリマエ”を求めて、高知に移住してくる人々が増えてきた。高知は、四万十は、これからの時代の大きな鍵となるのかもしれない。

【山みず木 5月のイベント案内等】

Djembe/アフリカ太鼓 ライブ&ワークショップイベントのお知らせです。

ほうばいpresent 奈良 大介 ライブin 高知

5月1日(木) @山みず木 野外ステージ

OPEN 18:00 START 19:00

ENTRANCE FEE ¥2000 (w/1Drink)

17:00~Kids太鼓ワークショップ(太鼓レンタル有り¥500)

キャンプ テント¥1000

宿泊(ドミトリー)¥2000 (1棟貸有り)

1棟貸しに関しては事前にご予約が必要です。

奈良大介ホームページ

<http://www.naradaisuke.com/>



新着 NEWS

道の駅「とおわ」にしまんとおちゃくりカフェオープン！！



四万十川を眺めながらのんびりティータイム♪
しまんとおちゃくりカフェが4月26日(土)10時OPEN!
連休中(4/26~5/6)は10時から16時まで営業します。



メニュー

いなかモンブラン・しまんと紅茶

●お問い合わせは
しまんとおちゃくりカフェ
0880-28-5527 まで。

